



## 4 月 21 日 細川護熙理事長、三日月知事、小西市長も共に植樹 関西初開催「鎮守の森のプロジェクト in ラ コリーナ近江八幡」 災害から“いのちを守る森”について考える 1 日に。

菓子製造販売のたねやグループ（本社：滋賀県近江八幡市）は 4 月 21 日（日）、公益財団法人鎮守の森のプロジェクト（細川護熙理事長）と「鎮守の森のプロジェクト in ラ コリーナ近江八幡 ーいのちを守る森について考えるー」を開催いたします。メインイベントの〈植樹祭〉には、同プロジェクト理事長の細川護熙元首相、三日月大造滋賀県知事、小西理近江八幡市長にも参加（予定）いただき、たねやグループ CEO 山本昌仁をはじめとする社員、また、一般公募した 150 名のみなさまと共に 1,500 本の木を植えます。関西では初の開催です。

「鎮守の森のプロジェクト」は、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災を教訓として、災害から“いのちを守る森”として大きな役割を果たす「防災林」の大切さを後世に伝え、各地で植樹し森づくりを行ってきました。私たちたねやグループも、人と自然がつながる場を願い、ラ コリーナ近江八幡の森づくりを 10 年間続けてきました。こうした“森づくり”という共通項からご縁をいただき、今回の開催にいたりしました。

また、大勢が集まるラ コリーナを会場とすることで、「鎮守の森のプロジェクト」をより多くの方々に知っていただき、災害時に森が果たす役割への理解を深めてほしいと、関西では初めての開催となります。これを機に、滋賀をはじめとして西日本でも活動が広がることを願っています。ぜひ当日お越しいただき、広くお知らせいただけますようお願い申し上げます。



▼植樹をする細川護熙理事長  
（鎮守の森のプロジェクト公式ウェブサイトより）

### 開催概要

- 【名 称】 鎮守の森のプロジェクト in ラ コリーナ近江八幡 ーいのちを守る森について考えるー
- 【共 催】 公益財団法人鎮守の森のプロジェクト（細川護熙理事長）、たねやグループ（CEO 山本昌仁）
- 【後 援】 滋賀県、近江八幡市、近江八幡商工会議所、公益財団法人滋賀県緑化推進会
- 【協 力】 まちづくり会社まっせ
- 【日 時】 2019 年 4 月 21 日（日）
- 【場 所】 ラ コリーナ近江八幡（滋賀県近江八幡市北之庄町 615-1）
- 【内 容】 「いのちを守る森」について考えを深めるトークイベントを開催  
1,500 本の苗木（アラカシ、シラカシ、アベマキ等）を植樹、特設ブース出店

## 【トークイベント】 14:00～14:45

鎮守の森のプロジェクトの取り組みを詳しく知ってもらうためのトークイベント

登壇者：鎮守の森のプロジェクト事務局長 新川真氏

参加者：細川護熙理事長、三日月大造滋賀県知事、小西理近江八幡市長  
たねやグループ CEO 山本、植樹祭に参加する一般公募 90 名

※参加者は急遽変更となる可能性があります。

## 【植 樹 祭】 15:00～17:00

参加者：細川護熙理事長、三日月大造滋賀県知事、小西理近江八幡市長

緑の少年団（近江八幡市内の小学生）、一般公募の参加者 150 名

たねやグループ CEO 山本、たねやグループ従業員 など

※参加者は急遽変更となる可能性があります。

## 【ブ ー ス 出 店】 10:00～17:00（完売次第終了）

内 容：鎮守の森のプロジェクトブース、琵琶湖水草堆肥 PR ブース（滋賀県）

たねや和菓子／ドリンク／そば／グッズ（軍手・タオル・Tシャツ）販売ブース

## 鎮守の森のプロジェクトとは

2012年7月、プロジェクト発足。東日本大震災を教訓に、「防災林」として大きな役割を果たす森づくりを各地の自治体やボランティアと共に進めています。これまでに岩手・宮城・福島3県の沿岸を中心に、約48万本の苗木を植樹。

〈プロジェクトメンバー〉 敬称略

理事長：細川 護熙（元首相） 副理事長：宮脇 昭（横浜国立大学名誉教授）

理 事：岩崎 俊男（株式会社箱根カントリー倶楽部代表取締役社長）、岡田 康彦（元環境事務次官・弁護士）

ロバート キャンベル（国文学研究資料館長） ※一部を掲載

## 「鎮守の森は後世に伝え残すべき貴重な知恵」

理事長：細川 護熙 元首相

東日本大震災では津波でコンクリート堤防や松林がことごとく破壊される中、

深く根をはった木々が津波の勢いを和らげ、関東大震災や阪神大震災では、

大火により建物が燃える被害を食い止め、防災林として大きな役割を果たした森がありました。

その森とは、かつて神社を囲むようにして存在した「鎮守の森」であり、その森は動植物などたくさんの命を育み、田畑や海、川にたくさんのミネラルをもたらす、地域と暮らしを守る自然豊かな森であります。

この「鎮守の森」をモデルとした森をできるだけ多くつくることは、災害の多いこの国に生きていく私たちが、後世に伝え残さなくてはならない貴重な知恵であり、自然と共生していく教訓でもあります。

「公益財団法人鎮守の森のプロジェクト」では、この活動を可能な限り展開して参りたいと考えておりますので、皆様方のご支援をお願い申し上げます。

（鎮守の森のプロジェクト公式ウェブサイトより）

※当日は大変混雑が予想されます。取材にお越しの際は駐車場等をご案内しますので下記までご一報ください。

また、参加者にインタビュー取材を希望される場合は時間を設けさせていただく予定です。

その旨も事前にご連絡いただけますと幸いです。

※雨天決行、荒天中止。やむをえず中止する場合は前日に決定します。